西郷村の人口及び世帯数

世帯数	2,124
人口	11,182
男	女
5,512	5,670

西郷村だより

発行所
西郷村役場
電話（熊倉）
1番・2番・7番
編集発行人
相山昭喜
印刷人
ワタベ印刷所

目的達成につとめる!!

白河市、東白川、西白河地方開発促進市町村議会議員総決起大会開かる

木村知事
初来村

さる八月十三日白河市民会館に於て、木村県知事をはじめ多数の来賓を招いて盛大に行なわれた。議長には本村の石井議長が推せんされつぎの議案を万場一致で可決された。

1、東北縦貫自動車道路インターチェンジ設置について
2、国有林野解放促進について
3、国県道の改良整備並びに新設について
4、農業構造改善事業にかかわる基盤整備事業費の全額国庫負担について
5、阿武隈高冷地帯の畜産振興について
6、果樹に対する災害補償制度の確立について
7、多目的黒川ダムの建設について
8、風俗営業取締法施行条例による指定地域について
9、県南地区にテレビ放送中継局設置について
10、低温泉開発促進について
11、農村後継者の確保及び育成強化について

この議員大会終了後、木村知事は、白河―羽鳥線（特に羽太橋）白河―甲子線等の県道を視察したあと、甲子地区の開発状況の視察に向われた。

四季を通じて楽しめる観光地として着々と開発が進められている甲子の開発状況を二日間にわたり視察した木村知事は、後進性の強い県南地区開発の中心地として積極的に開発を進めて行く事を強調し、「甲子高原の観光開発として道路が整備されれば、他産業の開発もこれに伴つて伸展する。甲子の開発は県南開発のフアンデーション（基本）である」と語り、それには、まず、道路の整備をまず第一に取りあげること、那須高原との結びつさをもつため栃木県側と相互開発の話し合いを始めること、点から線への観光地とすべく、甲子林道を利用した、会津観光地との結びを作ること等の基本線を打ち出し、甲子開発への意欲をはつきり見せていた。

農地取得資金融資制度について

一、貸付の目的

農地若しくは採草放牧地を取得し、又は維持し或は農地若しくは採草放牧地の細分化を防止しようとする場合に貸付し、農営業経の安定を図る。

二、資金区分

㈠自作地取得資金
農業経営の安定のため、農地又は採草放牧地の面積の増加をしなければならない場合、その取得に要する資金。

㈡小作地取得資金
小作地または小作採草放牧地を取得するための資金。

三、申込者の要件

㈠農業者であり将来も農業に精進する見込みがある者であること。

㈡農業経営安定計画が適正であり且つこれを達成する見込みが確実な者であること。

四、対象農家の範囲

㈠申請者は農業経営者であること。

㈡農業所得が原則として総所得の過半を占める農家であること。

㈢自力経営が可能な農家であること。

五、償還期間

㈠償還年限二十二年、据置期間三年以内とする。

㈡利率年三分五厘

㈢貸付限度額最高五十万円以内

詳細については経済課にお尋ねください。

第15回福島県統計大会開催

九月十五日、白河市民会館に於て、各省関係者並びに県内統計関係者が参加して行なわれることになつた。

行事として、統計調査に功績のあつた者の表彰、統計図表福島県コンクール入賞者の表彰並びに入選作品展示会があり、表彰式終了後記念講演がある。

西郷村内受賞者次の通り。

▽通産大臣賞＝白河バルプ工業（株）白河工場

▽知事感謝状＝田辺春吉

▽図表コンクール入選者＝佐藤敏己（小田倉小六年）高久敏子（同）遠藤和子（同）日向直子（同）相川桂子（同二年）

9月のこよみ

1日	二百十日
	関東大震災記念日
11日	二百二十日
13日	司法保護記念日
15日	と彼岸入り：十五夜
20日	秋分の日
23日	彼岸明け
26日	

待望!の追原簡易水道工事はじまる

追原部落民待望の簡易水道が、先般、県よりの認可がおり、さる八月四日関係者二十余名を集めて地鎮祭が行なわれた。

当部落の井戸水は、湧水量が極めて少なく、わけても渇水時期には、皆無という位に減量、日常生活の上から欠くことのできない飲料水をうるのにもことかき、そのため、部落内を流れる側溝の水を汲んで飲料水を補なつていた。村当局もこの実情から、伝染病誘発の恐れもあり、環境衛生上、非常に危険であり、また、一朝、火災に見舞われたら部落こぞつて灰じんと化す恐れもあると知り、部落民と話し合いの結果、この簡易水道布設となつた。この工事は、百八十五万二千円で白河市の磐城水道工業株式会社が施行、今年十一月一日より給水開始の予定となつている。

この簡易水道は、三年前からの懸案であつただけに給水開始がまちのぞまれている。

家庭は人間をつくる基盤

みんなで学ぼう家庭教育学級

〈豪華な旅館も三日も居れば風吹きぬける家恋し

こんな都々逸をつくつてみました。嫁と姑の喧嘩の場でも、数十年も同じ顔ばかり見ている家庭でも、三日も外泊すると恋しいのが我が家ではないでしようか。こんなに大事な生涯の場を明るく楽しくしようと努力しない人は正常な状態とは思いません。だが、それがそのまま意の如くならないのには理由があります。

先づ敗戦によつて正常な家庭を営めなくなつたこと、破壊された祖国におびただしく帰国した人、住むに家なき人、そのような中に民主主義思想の導入、民法の改正、均分相続制、等の実施でにわかに生き方が改革され、あたかもそれが真の自由の如く宣伝され、結婚離婚は自由、子供、老人は公共施設で生活するのが理想のように考える人がおります。

昔は農村では生産、教育、祭祀、娯楽、その他の機能が家及び地域社会で行なわれたのが近代社会では家庭外の各種施設で求められ、生活の合理化や家庭電化などでその時間もいちじるしく短縮され、ついに家は食べて寝るところのみになりそうです。

つまり人間性の欠如という悲しむべきことになりますが、いまでもそのような変化は行なわれており、将来に続いているのです。

はたしてそれがよいのでしようか、家庭の機能の変化は人間関係も変化させたそのままの状態で——

稲の研究は専門家

家庭教育ちゃなんだ?

ゆきとどいた生活管理、分業的機械化によりそのエネルギーは余すところなく仕事に吸収され、機械的に働らかされ月給袋を家庭に届けるだけといつてもなにもこれは都市のみの生活状況ではありません。このような思想は西郷村にだつて浸透しているのです。例えば近代的思想の一つに知識教育は学校教育にありと学校学校と学校にのみ才能の開発が求められるが、家庭においてはとんとなすことを知らないという有様だが、人格の形成や性格形成の基礎はなんといつても家庭なのであり、学校出た馬鹿が最も恐ろしいことを考える時に家庭教育による安定した家庭の建設に努力をしなければなるまい。

本年は熊倉と羽太に運営委員会を設置

そこで、本年度は熊倉と羽太に家庭教育学級を設けたが、どうせやるならみつちりとの声で同学級運営委員会をつくり、老若男女すべてが対象になるのが本学級で何時入学しても差支えなく、近隣誘つて連絡があつたらどうぞ一緒に出席願います。かくして本学級が発展するに及び郷土振興のための人材が続々と育成されることを期待したいものであります。

× × ×

聖火リレー通過は九月三十日

大会を祝福・心から送迎

オリンピック東京大会もあと一ヶ月余となりました。

九月三十日は聖火も西郷村にリレーされます。聖火をかかげて走る正走者は新井忠好、田辺勝捷、岩鍋国夫の三君ですが、西郷村三区間で一区間を正走者一、副走者二、随走者二十人で送迎することになります。

走る青年、中学生の当日の選ばれたる英姿が今から目に見えるようです。村民の皆様には歓迎の意味から沿道の清掃、交通安全に、とくに新四号国道を基準としている聖火リレーですのでその近辺の方に御協力をお願い申し上げます。

尚、当村は県内六十九、七十、七十一区間にあたり西郷駅四ッ辻十二時五分、森の湯十二時十四分、原中停留所十二時二十三分で栃福橋十二時三十二分に栃木県側に式典後リレーをすることになつています。

出た!オリンピック選手

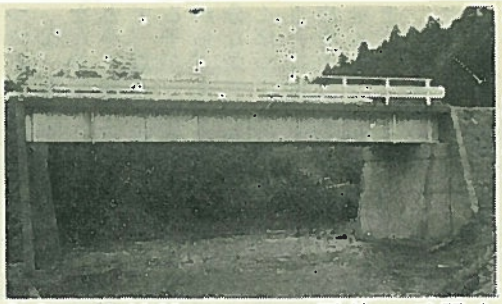
おらが村の福原くん頑張れ!

オリンピック東京大会も余白四十日余となりました。福島県からは四百数十名中九名の出場というから誇るに足る。わが西郷村からも福原広次君(19)が強迅なスタミナと優秀な成績から選ばれたのは当然。

小田倉字上々野原一に居住する父寅雄(50)、テイ(52)さんの正しい愛情によつてのびのびと健やかに成長した賜であろう。現在日大獣医農学部在学中、西郷二中時代から非常に静かな性格で園芸などが趣味という点からもうなづかれる。白農工高通学時代からいくら風雪が猛つても自転車で通学、黙々と精進した結果が今日の栄光を得たわけで、オリンピックには十四日の個人に、二十二日にはチームで出場する。いづれもロード・レースで場外を疾走するので応援団を結成し、健脚を祈願する。

九月十四日には壮行会を後援会主催で行なうが、詳細が発表の折には出席下さるようにお願い致します。

林道「虫笠～鶴生線」開設事業 第一期工事完了



この林道は公共事業として今年一月着手していた大字羽太字虫笠地内の第一期工事で、工費四百万円を投じてこのほど完成された。

当地区は民有林三百六十ヘクタールを有しているが、この地域を開発する道路が全くなく、当地域林産資源開発の足止めとなつていたが、この林道開設事業によつて、附近の優良林地大沢地区の開発、虫笠、鶴生地区の粗悪林が改良されるなど、関係者から大意に期待されている。

なお、工事完了した林道は巾員四㍍、長さ五百四十㍍で、真名子川にかけられた橋梁はプレートガーター式のモダンな永久橋です。

この林道が全線開通すれば西郷村北部を横断する重要な道路となります。

西郷村敬老年金の支給と敬老会の実施について

村では、今年度より「西郷村敬老年金支給条例」を設け、長年にわたり社会のために労苦をささげて来たお年寄りに対し、いくらかでも酬えようと村独自の制度を設けました。九月十五日より行ないます敬老会の席上で年金の支給を行ないますが、日時など詳細については各区長を通じてご連絡いたします。

今年は、各部落へ、村長が出向いて巡回の敬老会を行ないますので、村内のお年寄りが一堂に会することはできませんが、高令者（八十才以上）の中で、希望があれば、役場の車を利用して、毎年変りつつある甲子の風景をご覧に入れたいと思いますので、希望の方は社会福祉係へお申し込みください。なお、車の都合もあるので、期日は役場にお任せ願います。

検診並びに予防接種のお知らせ

1、成人病検診
・日時　九月二十九日、三十日
・料金　個人負担三百七十円
検診内容は高血圧、胃、心臓、その他ですが、早期発見を期するため多数受診されるようおすすめいたします。

2、老人健康診査
十月一日より四日間六十五才以上の老人に対し無料診断いたします。

3、インフルインザ予防接種
十月中旬予定

4、ヂフテリヤ、百日せき
十一月上旬予定
尚、いずれも実施前に区長を通じ連絡します。

◇防犯情報◇

今年の夏も例年におとらず数多くの水の犠牲者、また諸犯罪の犠牲者と不幸な惨事が新聞をにぎわしましたが、本村では、村内三駐在所はもちろんのこと、村民各位のご協力によつて、夏休みの期間中、ただ一人の犠牲者も出さなかつたことは、非常に喜こばしいニュースです。白河警察署の伊藤署長さんも大変よろこばれ、村民の皆さんによろしく伝えてくれるようにと、申しておりましたので、広報紙を利用してお伝えします。その他、夏の犯罪、痴漢事件、青少年の不良事件についても発生はありませんでしたが、引きつづき暑さが続くもようですので、今後も十分にこの成果をつづけ、明るい住みよい村づくりにご協力ください。

地籍調査について

今年度から西郷村が、地籍調査地区に指定され、五ケ年計画で地籍を行なうことになりました。地範調査とは、皆さんの土地のもとになつていた「字限図」「土地台帳」の原図書は、明治の初めにつくられたもので現況と違つて居る点が多く、皆さんの大切な土地の正しい位置、地形、地番、地目、面積、所有者を明確にするための調査です。

現在までの地籍調査の目的は、課税を主として行なわれましたが、今度の調査は国土を合理的に利用し、国土開発を図るための科学的に調査し「字限図」「土地台帳」を完全整備し、公共事業その他色々な事業計画を実行に移すための基礎調査です。

一、地籍調査に要する経費は国、県、村で負担します（個人は自分の境界の杭打と立会だけです）

二、土地の面積を一筆ごとに正しく測量いたします。（国の指定した一流測量会に委託）

三、新しい「字限図」「土地台帳」ができあがります。

四、測量結果の「字限図」「土地台帳」は皆さんに閲覧し間違いがあれば申立てられます。

五、この調査によつて「土地台帳」「字限図」は正しく書き替えられます。

六、今年施行分は真船地区熊倉（折口原）地区、小田倉（山下一部）地区約四百町歩です。

印鑑証明書について

最近、印鑑証明書を悪用されたり、盗用されて、被害をうけた人が、案外多いのに驚かされます。これでは年々増加するばかりですので、これを防ぐためにも、印鑑証明の意義を再認識し事故のないものとしたいものです。

印鑑証明書は、金銭貸借、保証及び不動産登記などの直接、個人の財産に影響するきわめて大切なものですので、利用者は登録及び証明書交付申請のときは、必ず本人が、手続きしてください。なお、病気などでやむをえない場合、代理人が申請しますが、その場合の委任状は必ず、本人が記入し捺印することです。又、これらのことで事故を起こさないためにも印鑑を大切に保管することと他人に貸すことをやめることです。そして印鑑による不幸な事故をなくするようみんなで注意しましょう。

いよいよ二学期です

たのしかつた夏休みも終わつて、いよいよ二学期です。九月にはじまる二学期は、三つの学期のうちでもいちばん長く、勉強に、油ののる時期ですし、天候もよいので、運動や遠足などの行事も多い学期です。この二学期を迎えるにあたつて、おとうさん。おかあさんはどんな心構えがたいせつでしようか……。

① まず夏休みのつかれをなおすこと。

とかく夏休みあとのつかれで、夏バテ状態になつている子が多いものです。ですから、まず十分な睡眠と十分な栄養のある食事に気をくばつてあげてください。九月は勉強よりもむしろ健康を主眼にした生活を送らせるよう心がけるべきでしよう。

② 整理の習慣をたてなおす。

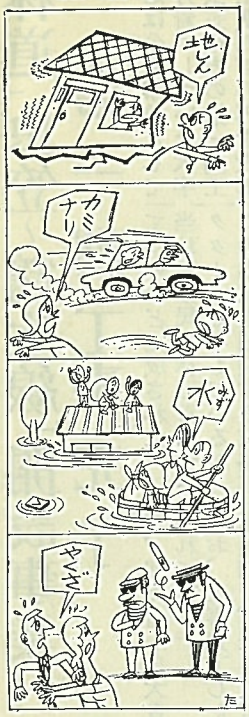
長い間の休みで、とかくやりつぱなしのくせがぬけません。とくに低学年の子は遊び道具や学用品を、あちこち散乱させがちです。おとうさんやおかあさんが手伝つてあげて、規則的な生活をはじめるためにも、整理のしつけについて考えてあげましよう。

③ 学力をつけるよい時期。

一学期の成績や夏休みの宿題のできぐあいなど、よく担任の先生や本人と話し合つて、二学期の学習目標を立てましよう。

特に考えなければならないことは、親は、勉強を教える！ということでなく、自主的な勉強をする態度や習慣をつくつてやることがたいせつです。

近ごろこわいものづくし
おたがいに気をつけましょう



国民健康保険税はなぜ増税されたか

昭和三十九年度の国民健康保険税を決定するために先般の臨時村議会に提案し万場一致で議決されましたので、八月一日付を以つて一斉に納税通知書を発行したわけです。

昨年度よりは約十二%増税されておりますが、その事由について簡単に説明のましよう。

まず第一点は、世帯主の七割給付実施によつて、自己負担が軽減されたため医師に罹りやすくなり、世帯主にかかる医療費が昨年度と比較して急激に増えたことが上げられます。

第二点は、医療費の単価が全国一率に統一されたことが上げられます。

第三点は、結核の治療基準及び抗生物質の使用基準が全面的に改正され、どのような注射でも薬剤でも保険の対象となつたことです。

以上の三点が昭和三十九年度の国民健康保険税、増税の事由ですので、この趣旨を深く理解され滞納者のないようお願いします。

穂首いもち病の防除

葉いもち病は、その割合いに発生も少なく被害も少なかつたが、これから発生が予想される穂首いもちの防除が、今年の稲作を左右されますので、今後の気象状況に注意すると同時に穂首の防除に万全を期してください。

赤ちゃんコンテスト実施について

◇対象者＝昭和三十八年七月一日より同年十二月三十一日までに生まれた者

◇審査日時及び場所

▽九月二十四日午後一時より小田倉診療所

▽九月二十五日午後一時より西郷村公民館

対象者以外の乳児は乳児検診を行ないますから必ず御出席ください。

『ヒエ』を撲滅しよう

米の増産とヒエの撲滅は切つても切れない関係にあることは皆さんご承知の通りです。

ヒエは取つても川や、道路に捨ててはなにもなりません。ご承知のように、ヒエは種子は、永年その生命を保ち、川上より流された種子は下流において次年には、また生育する強い植物です。これを撲滅することは一人や二人の力では実現できません。部落が協力し村全体が一体となつて、実施しないかぎり、その成果はあがりません。それで、今回は『ヒエ』を撲滅しましよう、をスローガンにこの運動を実施することになりました。各部落ではヒエの捨て場をきめて完全に、あとしまつをするよう、お互に協力し撲滅を期しましよう。

村職員を募集

このたび職員に欠員を生じましたので職員を募集しますから希望者は、つぎの要領により応募してください

▽採用人員――一名　事務職員

▽応募資格――高校卒程度の学力を有する男子で、満二十三才までの優秀なもの。但し、本村住民に限る。

▽給与――本村給与規定による（地方公務員に準ずる）

▽公募期間及び応募――九月一日より九月十五日までの日曜、祭日を除き毎日午前九時から正午まで応募者は自筆の履歴書及び最終学校長の成績証明書を携行の上総務課庶務係まで。

▽筆記試験の日時及び場所――締切り直後於・西郷村公民館

▽試験科目――国語、数学、社会、その他

昭和39年度派米農業労務者の募集について

昭和三十九年度派米農業労務者を募集してますので、希望者はつぎの要領により多数応募下さい。

▽募集期限　九月一日より九月二十五日まで

▽県予備選考　十月六日

▽県本選考　十月十四日

▽資格　満二十才以上三十二才までの男子で義務教育以上修了の者

◎その他　条件及び提出書類については役場経済課へお問い合せ下さい。